



今和泉の床下げ後の遺跡状態（小滝利意撮影） 今和泉出土の壺出土状況（小滝利意撮影）

壺や甕、鉢形などをした、ほぼ完全なものや、破片多数で、ちょっと見れば弥生式土器といわれているものがわかるが、よくみると荒い縄文がついており、縄文式時代の名残りがうかがわれ、相当古い時代のものであることに気付いた。

縄文式というのは縄を押しつけたような紋様のある土器類を指し、石器類などと共に考古学上、最も古く住んだ人々の遺物とされている。まだ農耕文化のはいらない前のもので、現在住んでいるわれわれの祖先と、どうつながるかも、明確には解けていない、相当永い期間の未開文化の遺跡にみつけれられるものである。会津地方にもこの遺跡はたくさんあるが、その殆どは、会津盆地などでは、その山麓周辺に限られているといってもよい。盆地底の北会津村より発見されたと



今和泉出土の弥生式浅鉢形土器（小滝利意撮影）